



外国人技能実習制度の“今”を伝える

iBridge

アイブリッジ通信



技能実習導入を
ご希望・ご検討の
法人様は、
右記、担当まで
お問い合わせください



アイブリッジ協同組合では、結核対策を重要課題と考え、実習生が母国で行う胸部X線検査は勿論のこと、更に日本への入国前に、公益財団法人結核予防会の協力のもとX線画像の再読影を行っています。

結核予防会は、国民の疾病予防と健康増進に寄与するとともに、結核研究所を中心に、世界的課題である途上国の結核対策に国際的に貢献することを目的とした組織です。所管は、当組合の代表理事が局長を担っていた厚生労働省健康局です。

実習生の健康は勿論のこと、施設の利用者様、職員様にも安心していただけるよう取り組んでいます。

医療・福祉施設では、 給食製造に携わる実習生も増えています



医療・福祉施設での給食製造
に携わる実習生は
以下の2種類の職種で
受け入れができます。



1) 医療・福祉施設での調理

職種:医療・福祉施設給食製造
実習生数:1,405人

「病院」や「介護施設」で、施設の利用者様の食事を調理します。



医療・福祉施設、または、施設で給食を製造する受託業者のもとで実習をおこないます。

医学的な管理等を必要とする者の症状等に応じて、1回100食以上または、1日250食以上の食事を提供する特定給食施設にて、食事を製造する職種です。



2) 給食センターなどでの調理

職種:そう菜製造業
実習生数:31,341人

複数の施設へ提供する食事を集中的・大量に製造する「給食センター」などで、施設の利用者様の食事を調理します。

主に、食事製造の受託業者のもとで実習を行ないます。

大量製造用調理器具を用いて、1回300食以上または1日750食以上の食事を提供する調理施設(セントラルキッチンなど)にて、惣菜加工品を製造する職種です。



外国人技能実習生は、
87職種161作業で
約**32万人**
(2023年7月現在)

アイブリッジ協同組合の実習生は
北海道から**九州**まで
400名以上
(2023年9月現在)



実習制度や規定などは「介護」とほぼ同じですが、日本語の能力や受入れ人数枠など、以下の様に一部異なる部分があります。くわしくは、組合の担当者からご説明いたしますので、お問合せ下さい。

- **日本語能力検定: 「N4」は必要ありません**
 - **但し、アイブリッジでは、基本的に「N4」合格者を送り出しています。**
- **受け入れ人数枠: 事業単位ではなく法人単位です**
 - 介護の実習生と給食の実習生の合計が法人としての枠内であれば、受け入れる事が出来ます。
 - 介護と介護以外の実習生を同時に受け入れる場合は下記の通りです。

介護職種	「各事業所」の常勤介護職員数から人数枠を算定し、各事業所毎に介護の実習生をカウントします
介護職種以外	「法人全体」の常勤職員数から人数枠を算定し、法人全体の介護と介護以外の実習生をカウントします



<2つの事業所を運営する法人の例>

法人・事業所	常勤職員数	実習生受入枠
施設A/B	常勤「介護」職員数 各30名	「介護」職種 各3名
法人全体	常勤職員数全体 計120名	介護含め全体で 計10名

この場合、法人全体では、下記の人数の「介護以外の実習生」の受入れが可能です。

- 例1) 各施設で介護実習生 3名受入れ => 介護以外の実習生 4名 (10名 - 3名x2)
- 例2) 各施設で介護実習生 2名受入れ => 介護以外の実習生 6名 (10名 - 2名x2)

実習生は給食以外でも医療・介護施設の運営を支えています

建物内の清掃

職種:ビルクリーニング
実習生数:4,717人



住宅以外の不特定多数の人が利用する建築物の内部の清掃をおこないます。施設の清潔さを維持します。

清掃業務の登録を受けた受託業者のもとで実習をおこなっています。

リネンを提供

職種:リネンサプライ
実習生数:1,455人



寝具、介護服、タオル、包帯などのリネンサプライにたずさわります。利用者さまの快適な生活をサポートします。

衛生基準の認定を受けた受託業者のもとで実習をおこなっています。

技能実習生紹介

「医療・福祉施設給食製造職」で活躍する実習生にインタビューしました

①実習でよかった事 ②実習で苦労した事 ③生活で良かった事 ④生活で苦労した事 ⑤ 将来の夢

山口県の実習生（ケアハウス）

2022年3月来日



- ① 日本の企業で日本の仕事の文化や新しいことを勉強できたことです。
- ② 一番大変なのは言葉の違いでした。仕事を覚えるのも大変でしたが、皆様に親切に教えて頂き感謝しています。利用者様の事を考えながら、特に衛生面に注意して業務を行っています。
- ③ コンビニやスーパーが近く、電車での移動が便利なことです。
- ④ 物価がどんどん上がっていることです。
- ⑤ 貯金をして家族の生活を支えたいです。そして、家族全員を有名な観光地に旅行へ連れて行きたいです。

千葉県の実習生（特別養護老人ホーム）

2022年3月来日



- ① 時間やルールをしっかり守る日本人の仕事に対する態度を学べたことです。
- ② はじめのころは、日本人とのコミュニケーションや業務がうまくいかず苦労しましたが、指導員さんたちにしっかり教えてもらい、自信がついてきました。
- ③ 交通規則がしっかりしている事と、電気や水道などが安心して使える事です。
- ④ 何にでも税金がかかり、物価も高いことです。
- ⑤ 帰国後は、日本で身につけた技能や日本語を使った仕事をして、さらにスキルアップを図りたいと思います。

東京都の実習生（特別養護老人ホーム）

2022年3月来日



- ① 日本の技術や管理のしかた、日本語や文化を学ぶ事ができたことです。
- ② 言葉やマナーの違いにとっても気を使いましたが、皆さんがやさしく教えてくれるので、早くなれる事ができました。
- ③ 何か困ったことがあったときに、会社や組合に相談できることです。
- ④ 家族とはなればなれになった事、機械の使い方などです。
- ⑤ 長く日本で働きたいと思います。自分自身も成長しながら、家族も支えられるようになりたいと思います。



アイブリッジ協同組合

一般監理事業(優良管理団体)

所在地 〒103-0027
東京都中央区日本橋3-13-5 KDX日本橋313ビル9F
TEL 03-6228-4196 FAX:03-6228-4896
MAIL info@ibridge.or.jp

ホームページ



<https://www.ibridge.or.jp>

2023年10月31日発行